

次世代育成研究・児やらい



尚絅短期大学子育て研究センター

第2巻 2005年

はじめに

平成17年度4月1日から、次世代育成支援対策推進法（平成17年から平成26年度までの時限立法）に基づく「地方公共団体行動計画」が施行される。これまでの「少子化対策」の成果が現実に反映されないままに、10年が経過し、「次世代育成」の名の下に新たな10年がはじまろうとしている。

これまでの子育て支援は、戦術はあるが戦略がないと評される。百年の大計がなく、小手先の技術論に終始しているというのである。とすれば、10年、20年のスパンではなくこれからの50年、100年を見越した戦略を練る必要もあるう。

ともあれ、「次世代育成研究・児やらい」第2巻を発刊することができた。今回は、学外で様々な実践を重ねている研究者及び実践家に投稿をお願いした。1人は東京で自宅を開放し「わはは生活研究所」を主宰し、研究者及び実践家として子育てに積極的な提言をしいる浜名氏である。そして、熊本の実践家2人。一人は、熊本の子育てサークル及び子育て通信の草分けであり、現在ミューズプランニングを主宰する藤井氏、そして子育てサークル、スクールカウンセラー等の経験を持ち、現在子育て相談員として活躍している市原氏である。

子育て研究センターの活動に関しては、第4回公開シンポジウムの記録を掲載している。なお、「次世代育成研究・児やらい」の別冊として、子育て研究センター・地域プロジェクトの調査報告書「子育て家庭の支援に関する研究—全国と熊本市の比較研究—」を発行した。併せてごらんいただければ幸いである。

子育て研究センター長
浜崎幸夫

目 次

はじめに	1
浜崎幸夫（子育て研究センター長）	
I 論文	
1 親の育児力を高める子育て支援に関する研究	3
－わははの会の実践事例から－	
浜名紹代（わはは生活育児研究所）	
2 ハイデルベルグにおける暴力への取り組み	13
－日本の家庭支援への示唆－	
市原由美子（子育て相談員）	
3 親子関係に見る包括的承認（まるごと受容）の意義	19
－小学生の意識調査から－	
藤井宥貴子（コミュニケーション アドバイザー）	
II 第4回尚絅短期大学子育て研究センター公開シンポジウム記録	
1 会次第・テーマ・シンポジスト紹介	25
2 親支援の方法を探る	33
－研究者の立場から－	
柿原一貴（子育て研究センター・地域プロジェクト）	
3 親支援の方法を探る	43
－研究者の立場から－	
竹下昭代（子育て研究センター・幼稚園プロジェクト）	
4 親支援の方法を探る	53
－児童養護施設の立場から－	
松田明美（児童養護施設シオン園・保育士）	
5 親支援の方法を探る	57
－N P O・保育所の立場から－	
浜田宏陽（N P Oサンシャインフォーラム熊本）	
（元・モロナイ保育園園長）	